



上板橋第四小学校 令和7年度

第5回コミュニティ・スクール委員会だより

令和9年3月2日
上板橋第四小学校
校長 山藤 知子
CS委員長 平山 志保

第5回 会合の報告

2月2日(月)に行われました、第5回コミュニティ・スクール委員会の概要について、次のとおりお知らせします。

本年度の委員の皆様

《地域委員》

伊藤 恵美	委員	(PTA会長)
望月 治	委員	(上板橋一丁目町会長)
木下 奉章	委員	(上板橋二丁目会長、青健顧問)
平山 志保	委員	(地域コーディネーター)
下竹 敬史	委員	(さくら保育園長)
椋山 和人	委員	(元PTA会長)
島村 恵子	委員	(主任児童委員)
徳重 弘樹	委員	(元PTA役員、教育関係企業)
石井 眞由子	委員	(上四小あいキッズ責任者)

《行政委員》

山田 綾子	委員	(中央図書館長)
辰口 信子	委員	(上板橋保育園長)
増田 伸吾	委員	(常盤台地域センター所長)

委員長挨拶

今年度も早1年が経とうとしています。授業を参観して、子どもたちの成長を感じました。

本日もよろしくお祈いします。

校長挨拶

おかげさまで、本年も1年を終えようとしています。今年度は、運動発表会と学習発表会という二つの大きな学校行事を経験し、子どもたちの大きな成長の機会となりました。これも保護者や地域の方々の支えがあったからこそと思います。ありがとうございました。

本日はよろしくお祈いします。

本年度の学校評価について

(はじめに、副校長より2学期に行われた保護者学校アンケートの結果について資料を基に説明がありました。)

次に教職員のアンケートを基にした今年度の教育活動の成果と課題については、次のように分析しました。

○「確かな学力の定着・向上」について

・問題解決型の学習は、子どもたちがより問題解決を

っているということが実感できるよう、授業改善を図っていく。

- ・自己調整学習を少しずつ取り入れていく。
- ・児童のICT機器活用は、授業を通してできるようになってきている。並行して、情報モラル教育についてもしっかりと取り組んでいく。
- ・学びのエリア(小中一貫教育)では、近隣小中学校と連携し、1教科1取組をさらに推進していく。

○「地域に開かれた学校づくり」について

- ・地域と連携することで、学習の質が高まっている。今後も継続していく。
- ・学校の教育活動をより発信していく必要がある。学校ホームページを活用し、充実を図っていく。

○「教職員の働き方改革」について

- ・働き方を工夫し、教職員が早く帰れるように工夫している。教職員の健康が、日常の活力を生み、よりよい教育活動につながっていく。今後も教職員の体調と心を整え、明日の教育の充実を図っていく。

○「自他を尊重する豊かな心の育成」について

- ・今年度、いじめが重大化する事態は起こらなかった。日頃よりこまめに声掛けし、対応してきた成果と言える。

令和8年度教育課程について

【教育課程第1表(学びのエリアで共通)について】

[学びのエリアのめざす子ども像にせまるための基本方針]

○9年間を見通した一貫した学習指導

- ・問題解決的な学習の充実
- ・ICT機器の活用
- ・主体的に学習を自己調整する力の育成

○系統的・継続的な生徒指導

- ・「自分らしく」生きるために、自己受容や他者信頼・他者貢献の気持ちを育む

○子ども同士や教職員間のつながり

- ・縦割り班活動、特別活動、話し合い活動の充実を通し、児童の自治能力を高めていく。

○学校、家庭、地域が一体となった豊かな教育環境作り

[令和8年度の教育目標]

- 自ら考え創り出す子
- 認め合ってつながる子
- しなやかにのびゆく子

[学校の教育目標を達成するための基本方針]

—— 3つの重点 ——

- ①各教科の学習で問題解決的な学習を積極的に取り入れるとともに、発達段階に応じた自己調整学習を推進する。
- ②様々な場面で話し合う機会を設定し、協働して活動する力を育成する。
- ③児童一人ひとりの成長を認め励まし、自己肯定感や自己有用感を高め、安心した学校生活を送れるようにする。

[質疑応答]

—— 福祉教育の充実とは

- ・ハンディキャップのある方を、一緒に暮らす仲間として手助けするところは手助けし、どのように関わりをもてばよいかということ子どもの中から学ぶことが大切です。そして、みんなが幸せに暮らしていく社会をつくるにはどうしたらよいかを考える人材を育てていきます。

—— ハンディキャップのある方との関わり方は、デフリンピック参観などのイベントを通して学んでいくのか、それとも地域の福祉について学んでいくのか。

- ・まちの中にもハンディキャップのある方は暮らしています。そのような方々とうまく関わっていくにはどうしたらよいかを考えることを大切にしたいです。福祉教育のきっかけとして、イベントの参加やゲストティーチャーの招聘などを活用できればと思います。

[令和8年度からの週時程について]

- 1年生は、4時間授業を5月まで延長
- 2年生は、火曜日の6時間授業を3学期から開始
- 3年生は、木曜日の6時間授業を3学期から開始
- クラブ・委員会活動日は、金曜日から水曜日に変更
- 金曜日は全学年5時間授業とし、放課後を会議等に充てる
- 1・3学期末の期末週間は、特別時程5時間授業

委員より

- 働き方改革の自己評価が低かったことが気になりました。今後協力できることがあれば取り組んでいきたいです。
- 学校でなければ経験できないことがあります。そのような活動をこれからも充実させていただければありがたいです。
- これからも先生方と意見交換をして取組を進めたいと思います。
- 保幼小連携の活動で、1年生の目が生き生きと輝いていました。また、園児に向けて「わたしたちがいるから安心してください。」と声を掛けていたことが印象に残っています。このような活動が地域の広がりを通じていることを実感しました。
- iCS委員会への参加を通して、学校の先生方がどのようなことを重点的に取り組んでいるのか、またその大変さを学ぶことができました。
- 中学校では来年度から授業で生成AIが導入されますが、生成AIが導き出す答えを鵜呑みにしてしまわないか、地域の一人として心配しています。また、子どもの一人ひとりの個性を「ちがっていいんだ」と認め合える関係を築いてほしいと願っています。本日の授業を参観し、先生方の個性が生かされた授業が素晴らしいと思いました。
- 子どもたちのために、日頃の先生方の尽力に心から感謝しています。地域のからもたくさんのご協力をいただきました。これからも、保護者・地域で連携協力し、学校の教育活動をよりサポートできるよう努力していきたいと思います。
- 今年度は先生方の顔ぶれが半分以上変わり、はじめは心配な気持ちもありましたが、およそ1年が経ち、先生方が楽しそうに授業をしている姿が見られました。また、教職員の一体感も感じました。中学校に行ったときに声を掛けてくれる生徒や、上四小で行われた「二十歳の集い」で声を掛けてくれる人がいました。これからも、子どもたちにとっても先生方にとっても、よい思い出の残る上四小であってほしいと願っています。

文責：副校長 高橋
委員長 平山